

資料3_中期見直しの必要性について（修正）

（１）基礎調査

項目	内容	備考
町民アンケート	・令和6年5月にeマーケティングで実施（回答者274名・回答率53.1%） ・eマーケティング調査では30代・40代のいわゆる子育て世代が回答者の多数を占めた。 ・令和2年度の当該計画策定時に実施した町民アンケートとの回答内容との比較を行った。 ・比較の結果、回答の傾向としては概ね前回と同様の傾向を示していた。 ・緑や水辺などの自然環境や神社などの文化的環境は満足度が高い。 ・一方で騒音や振動、ごみのポイ捨てなど快適な住環境をおびやかす要因については、依然として一定の不満足が見受けられる。	・令和2年度は郵送によるアンケートも実施 ・今回のeマーケティングの調査は町民の認識の傾向を把握するために先行して実施した。 ・計画を見直すこととなった場合は、郵送によるアンケートも実施する。

（２）前期期間における環境指標等の達成状況（概況）

- ・令和6年度までの前期期間がある中で、令和5年度時点での達成状況を示すもの（残余1年）
- ・令和5年度時点の達成状況は、集計中のものなどもあるため確定ではない。

【基本目標1】健康で、安心して暮らせるまちを形成します

取り組み方針	環境指標の達成状況（R5）	評価（R5）
1-1空気と水をきれいにする	・大気に関する環境指標は目標達成だが、河川水質は基準年度の実績値より後退 ・環境指標が13個ある中で、4個が前期の目標を達成（達成割合30.8%）	2（環境指標の達成割合が20%以上～40%未満）
1-2生活に不快感を与える騒音や悪臭などを防止する	・道路交通騒音・振動や悪臭などの環境指標は目標達成。公害苦情に関する環境指標も概ね目標達成 ・環境指標が6個ある中で、4個が前期の目標を達成（達成割合66.7%）	4（環境指標の達成割合が60%以上～80%未満）
1-3災害・事故時等の生活環境対策を推進する	・ダイオキシン類に関する環境指標はすべて目標達成 ・環境指標が5個ある中で、5個が前期の目標を達成（達成割合100.0%）	5（環境指標の達成割合が80%以上～100%）

資料3_中期見直しの必要性について（修正）

【基本目標2】歴史とともに育まれた自然と共生します

取り組み方針	環境指標の達成状況（R5）	評価（R5）
2-1農地を保全し、 農地の持つ環境保全 機能を強化・活用す る	・農地に関する環境指標は概ね目標達成 ・環境指標が4個ある中で、3個が前期の目標を達成（達成割合75.0%）	4（環境指標の達成割合が60%以上～80%未満）
2-2生きものの生息 空間を保全し、生物 多様性を確保する	・保存樹林や保存樹木、環境学習の参加人数に関する環境指標は基準年度の実績値よりも後退 ・環境指標が4個ある中で、1個が前期の目標を達成（達成割合25.0%）	2（環境指標の達成割合が20%以上～40%未満）
2-3歴史・文化を保 全し、次世代へ継承 する	・文化財や普及啓発に関する環境指標はすべて目標達成。 ・環境指標が2個ある中で、2個が前期の目標を達成（達成割合100.0%）	5（環境指標の達成割合が80%以上～100%）

【基本目標3】低炭素社会の実現に向けた地球温暖化対策を推進します

取り組み方針	環境指標の達成状況（R5）	評価（R5）
3-1省エネルギーを 推進する	・町の事務事業に伴うCO2排出量の環境指標は大幅に目標を達成。 ・環境指標が3個ある中で、2個が前期の目標を達成（達成割合66.7%）	4（環境指標の達成割合が60%以上～80%未満）
3-2再生可能エネ ルギーの利用を推進 する	・公共施設への太陽光発電設置に関する環境指標は目標達成。 ・環境指標が1個ある中で、1個が前期の目標を達成（達成割合100.0%）	5（環境指標の達成割合が80%以上～100%）
3-3気候変動の影響 に適応したまちをつ くる	・自主防災訓練回数の環境指標は目標達成 ・環境指標が1個ある中で、1個が前期の目標を達成（達成割合100.0%）	5（環境指標の達成割合が80%以上～100%）

資料3_中期見直しの必要性について（修正）

【基本目標 4】資源が循環する仕組みを構築します

取り組み方針	環境指標の達成状況（R5）	評価（R5）
4-1 ごみの減量化や資源化を推進する	・一人1日当たりのごみ排出量は目標を達成し、一般廃棄物の年間総排出量は過去もっとも少ない量となった。 ・フリーマーケットの出店数や不用品登録制度の年間利用件数の環境指標は基準年度の実績値より後退 ・環境指標が6個ある中で、<u>1個が前期の目標を達成</u> (達成割合16.7%)	<u>1（環境指標の達成割合が0%以上～20%未満）</u>
4-2ごみの適正管理・適正処理を推進する	・違反ごみの収集量に関する環境指標は基準年度の実績値より後退 ・環境指標が1個ある中で、前期の目標を達成した環境指標なし（達成割合0.0%）	1（環境指標の達成割合が0%以上～20%未満）
4-3水が循環するまちをつくる	・雨水貯留槽の設置助成件数の環境指標は、基準年度の実績値よりも前進しているが目標達成には届かず。 ・環境指標が1個ある中で、前期の目標を達成した環境指標なし（達成割合0.0%）	1（環境指標の達成割合が0%以上～20%未満）

【基本目標 5】快適で住みやすい都市環境を構築します

取り組み方針	環境指標の達成状況（R5）	評価（R5）
5-1 都市の中の水辺や緑を創出する	・緑化ボランティア数など緑の創出や、親水護岸の箇所数など水辺に関する環境指標は概ね目標を達成 ・環境指標が6個ある中で、5個が前期の目標を達成（達成割合83.3%）	5（環境指標の達成割合が80%以上～100%）
5-2環境に配慮した交通インフラの整備などのまちづくりを推進する	・町道維持工事着手率の環境指標は、基準年度の実績値よりも前進しているが目標達成には届かず。 ・環境指標が1個ある中で、前期の目標を達成した環境指標なし（達成割合0.0%）	1（環境指標の達成割合が0%以上～20%未満）
5-3清潔で美しいまちをつくる	・自主的な環境美化活動の回数や、環境美化活動の実施団体数などの環境指標は一部を除き概ね目標を達成。 ・環境指標が5個ある中で、3個が前期の目標を達成（達成割合60.0%）	4（環境指標の達成割合が60%以上～80%未満）

資料3_中期見直しの必要性について（修正）

【重点プロジェクト①】水辺を中心としたまちをきれいにしよう！プロジェクト

主な取り組み	数値管理目標の達成状況（R5）	評価（R5）
(1)小出川を中心とした河川水質の改善・監視強化	・水質調査の実施回数、小出川流域自治体及び県との情報交換会の実施回数に関する取り組みの数値管理目標は、目標を達成 ・数値管理目標が2個ある中で、2個が目標を達成	合計13個ある取り組みの数値管理目標がある中で、10個の取り組みが数値管理目標を達成。（達成割合76.9%）
(2)下水道整備の推進と接続の推進	・未整備区域への下水道整備、未接続家庭への下水道への接続に関する取り組みの数値管理目標は、概ね目標を達成 ・数値管理目標が2個ある中で、1個が目標を達成	
(3)水辺を中心とした環境美化の推進	・河川美化キャンペーンの推進や、各種美化活動でのごみの収集量の削減などの取り組みの数値管理目標は、概ね目標を達成。 ・数値管理目標が4個ある中で、3個が目標を達成	
(4)水辺の自然とのふれあいの推進	・自然観察の森における観察会の実施や、自然環境に係るイベントの参加人数の増進に関する取り組みの数値管理目標は、概ね目標を達成。 ・数値管理目標が5個ある中で、4個が目標を達成	

【重点プロジェクト②】二酸化炭素排出実質ゼロのまちキックオフ！プロジェクト

主な取り組み	数値管理目標の達成状況（R5）	評価（R5）
(1)公共施設における施設設備等の運用改善	・中央熱源型空調機における高効率な運転方法への調整などの取り組みに関する数値管理目標は、目標を達成 ・数値管理目標が3個ある中で、3個が目標を達成	

資料3_中期見直しの必要性について（修正）

(2)公共施設における設備等の更新	・高効率ヒートポンプなど、省エネルギー型の空調設備への更新などの取り組みに関する数値管理目標は、国・県の補助を活用した省エネ設備導入の取り組みを除き、目標を達成 ・数値管理目標が3個ある中で、2個が目標を達成	合計17個ある取り組みの中で、13個の取り組みが数値管理目標を達成。（達成割合76.5%）
(3)公共施設における再生可能エネルギーの導入	・公共施設などへの太陽光発電設備等の導入に関する取り組みの数値管理目標は、目標を達成。 ・数値管理目標が1個ある中で、1個が目標を達成	
(4)湘南エコウェーブプロジェクトの推進	・親子環境バスツアーなど各種環境学習事業の実施に関する取り組みの数値管理目標は、目標を達成。 ・数値管理目標が1個ある中で、1個が目標を達成	
(5)再生可能エネルギー由来の電力調達による電力使用の低炭素化	・公共施設などへの再生可能エネルギー由来の電力調達の導入に関する取り組みの数値管理目標は、目標を達成。 ・数値管理目標が1個ある中で、1個が目標を達成	
(6)町民・事業者に対する省エネ行動や再生可能エネルギー導入の促進	・町独自の再生可能エネルギー導入に向けた補助制度の検討と実施などの取り組みの数値管理目標は、町内事業所に対する県の省エネ診断の受診促進の取り組みを除き、目標を達成。 ・数値管理目標が3個ある中で、2個が目標を達成	
(7)二酸化炭素の吸収源となる樹林地の保全	・自然環境保全地域の指定の継続などの取り組みの数値管理目標は、概ね目標を達成。 ・数値管理目標が2個ある中で、1個が目標を達成	
(8)都市緑化等による二酸化炭素の吸収源の創出	・公共施設における緑地の維持の推進などの取り組みの数値管理目標は、概ね目標を達成。 ・数値管理目標が3個ある中で、2個が目標を達成	

資料3_中期見直しの必要性について（修正）

（３）前期期間における課題と今後の課題、見直しの必要性について

- ・前期期間における取り組みは、直近３ヶ年で一部の例外を除いて概ね着実に前進している。
- ・一方で、環境指標の実績値が基準年度から後退している取り組みもあるため、目標値も含めてこれらの取り組みの内容を検討する必要がある。
- ・また、重点プロジェクトにおいては、「キックオフ」などの取り組みを開始したことを示す表題となっていることから、取り組む内容も含めて改めて検討する必要がある。
- ・これらのことから、第３次寒川町環境基本計画の中期期間を迎えるにあたり、計画の一部見直しは必要と考える。

（４）現時点における見直しの具体例（案）

【基本目標１】健康で、安心して暮らせるまちを形成します

取り組み方針	課題	内容
1-1空気と水をきれいにする	小出川をはじめとした河川水質（BOD）の実績値が基準年度より後退している。	河川水質の継続監視と流域自治体との連携の強化が必要ではないか。
	電気自動車の導入台数の取り扱い	大気汚染防止につながる低公害車の導入としての位置づけで環境指標としていたが、地球温暖化対策の環境指標にも再掲で載せるべきではないか。

【基本目標２】歴史とともに育まれた自然と共生します

取り組み方針	課題	内容
2-2生きものの生息空間を保全し、生物多様性を確保する	保存樹林面積・保存樹木指定本数の実績値が基準年度より後退している。	実態に即した現実的な目標値の設定が必要ではないか。

【基本目標３】低炭素社会の実現に向けた地球温暖化対策を推進します

取り組み方針	課題	内容
全てに関わる	「低炭素社会」という表題が時代にそぐわなくなっている。	本計画の策定当時は「低炭素社会」としていたが、現在はこの言葉は一般的ではない。気候変動適応策を包含したシンプルな表現に改めてはどうか。

資料3_中期見直しの必要性について（修正）

3-1省エネルギーを推進する、3-2再生可能エネルギーの利用を推進する	寒川町ゼロカーボン推進対策設備等導入補助金による二酸化炭素排出量の削減効果が環境指標に設定されていない。	総合計画2040との整合性を図ることが必要ではないか（総合計画では施策指標に設定）
3-1省エネルギーを推進する、3-2再生可能エネルギーの利用を推進する	事業者向けの町単独事業及び県との連携事業が、具体的な取り組みに設定されていない。	町単独の事業者向け事業の検討及び、県と連携して進めていく事業者向け事業（主に中小企業向け）について、具体的な取り組みへの設定が必要ではないか。
	基幹エネルギー事業者との連携事業が、具体的な取り組みに設定されていない。	脱炭素の協定を締結した基幹エネルギー事業者と連携して進めていく事業（主に環境教育の実施、太陽光PPA事業の実証事業）について、具体的な取り組みへの設定が必要ではないか。

【基本目標4】資源が循環する仕組みを構築します

取り組み方針	課題	内容
4-2ごみの適正管理・適正処理を推進する	違反ごみの収集量実績値が基準年度より後退している。	取り組みの継続と周知啓発の工夫が必要ではないか。

【基本目標5】快適で住みやすい都市環境を構築します

取り組み方針	課題	内容
—	現状なし	必要に応じて文言の修正を行うことでよい。

【重点プロジェクト①】水辺を中心としたまちをきれいにしよう！プロジェクト

主な取り組み	課題	内容
(3)水辺を中心とした環境美化の推進	河川（相模川）美化キャンペーンのごみの収集量が減少していることから、参加者数とごみの収集量にギャップがある。	まちぐるみ美化運動との統合により、「河川を含めた町内の一斉清掃」にリニューアルを図る必要があるのではないかと。

資料3_中期見直しの必要性について（修正）

【重点プロジェクト②】二酸化炭素排出実質ゼロのまちキックオフ！プロジェクト

主な取り組み	課題	内容
全てに関わる	重点プロジェクト②の「キックオフ」という表題が中期にはそぐわない	継続して重点プロジェクトに位置づける必要があるか。また、その場合「キックオフ」を別の表現に変更する必要があるのではないか。
全てに関わる	基本目標3の見直しと連動した取り組みの整理	左記の見直しに伴い、取り組みの修正が必要ではないか。